

学会消息

昭和二十九年(昭和三十年五月までをふくむ)東京女子大学学会、各部会及び学会員の活動は次の通りであつた。(とくに断りなきは本学関係、「論集」は東京女子大学論集、「学」は学生、「卒」は卒業生)

哲学部会

「キェルケゴールに於けるソクラテス」六月一日 酒井瞭吉教授

「文化について」六月十五日 (学)武井和子氏

「福音と律法」九月二十二日 (学)末藤悦子氏

子氏

「教育の退行現象」十一月二日 名倉英三郎助教授

子氏

「パウロの人間観」十二月二十日 小島次男講師

男講師

「ブルンナーの出会いとしての眞理について」三十年一月十八日 (学)高場つま氏

男講師

「ジョン・デューイの教育の目的について」三月 名倉英三郎助教授

× × × × ×

「現代日本文学について」七月三日 白井吉見氏

「文学界の一挿話」十二月八日 成瀬正勝氏

「平安朝の消息文について」三十年一月三十日 東京教育大学 小西甚一氏

× × × × ×

英米文学部会

「ジョン・デューイの教育の目的について」(「論集」五の二)

小泉一郎教授「プラグマティストとしてのエマソン」(「論集」五の二)

井上ヒデ助教授「『アリス』に見る内面的苦悩に就て」(英米文学評論 一九五五年二月)

「透谷の内部生命観の源流」日本比較文学会公開講演会 於早稲田大学 十月

笹淵友一教授

日本文学部会

「現代日本文学について」七月三日 白井吉見氏

吉見氏

「文学界の一挿話」十二月八日 成瀬正勝氏

「平安朝の消息文について」三十年一月三十日 東京教育大学 小西甚一氏

× × × × ×

「透谷の内部生命観の源流」日本比較文学会公開講演会 於早稲田大学 十月

笹淵友一教授

「萬葉遷都の歌について」萬葉夏期大学

於日本大学 七月二十六日「萬葉集初期の作家と作品」三島学園大学夏期大学講座 於仙台三島学園大学 八月「萬葉集はだれ考」萬葉茜会 於国学院大学 十二月十八日「萬葉集ことしげについて」

萬葉三水会研究発表会 於学士会館 三十年三月十七日「萬葉回顧二十五年」萬葉三水会二十五周年記念講演会 於第一生命ホール 五月二十八日 藤森朋夫教授

「欧米人の能楽研究」東京女子大学附属比較文化研究所研究発表会 於比較文化研究所 八月二十日 古川 久教授

× × × × ×

笹淵友一教授「徳富蘇峰の文学論」(日本文学)七月「人生における文学」(ニエー・エイジ)十月「六人の処女研究」(比較文化第一号)十一月「北村透谷の内部生命観とキリスト教」(国語と国文学)三十年四月「透谷の宿魂鏡について」(文学)五月

藤森朋夫教授「日本文学史」(金子書房)五月「島木赤彦の季節歌」(二、三、四)(白路九の五、六、九)「春の野に薫つみにと」卷八の一四二四(萬葉研究第七号)「萬葉集の夏山の歌」(短歌雑誌八の八)「萬葉集大成」訓話篇上(平凡社)八月「斎藤茂吉短歌「御柱行」について」(群山九の十)「萬葉集(五)」

萬葉三水会研究発表会 於学士会館 三十年三月十七日「萬葉回顧二十五年」萬葉三水会二十五周年記念講演会 於第一生命ホール 五月二十八日 藤森朋夫教授

「欧米人の能楽研究」東京女子大学附属比較文化研究所研究発表会 於比較文化研究所 八月二十日 古川 久教授

× × × × ×

笹淵友一教授「徳富蘇峰の文学論」(日本文学)七月「人生における文学」(ニエー・エイジ)十月「六人の処女研究」(比較文化第一号)十一月「北村透谷の内部生命観とキリスト教」(国語と国文学)三十年四月「透谷の宿魂鏡について」(文学)五月

藤森朋夫教授「日本文学史」(金子書房)五月「島木赤彦の季節歌」(二、三、四)(白路九の五、六、九)「春の野に薫つみにと」卷八の一四二四(萬葉研究第七号)「萬葉集の夏山の歌」(短歌雑誌八の八)「萬葉集大成」訓話篇上(平凡社)八月「斎藤茂吉短歌「御柱行」について」(群山九の十)「萬葉集(五)」

日本古典全書 (朝日新聞社) 三十年五月

月 「近代詩歌」 (明治書院) 五月

「萬葉集」はだれ「考」 (萬葉研究第八号)

古川 久教授 「馬琴と中国の小説批評」

(天地人) 七月 「狂言面の演出的分類と

その効果」 (観世) 九月 「狂言集」 (中)

日本古典全書 朝日新聞社 十一月

「欧米人の能楽研究」 (比較文化) 十一月

「狂言の装束について」 (観世) 三十年

四月

松村 緑教授 「薄田泣菫の文壇進出時代」

(岡山春秋二十九号) 「大西操山とキリ

スト教」 (基督教新報二九一〇号) 八月

「近世俳諧師の試みた新詩形」 (文芸研究

十八集) 十月 「薄田泣菫評伝—詩人時

代後期—」 (日本文学) 一月

森岡健二助教授 「志賀直哉の用字・用語」

(言語生活) 十月 「英和辞書における訳

語の変遷」 (比較文化第一号) 十一月

「コミュニケーションの基礎能力として

の文法」 (実践言語) 十二月 「文化変

容現象として見た共通語化の問題」 (論

集」五の二)

社会科学部会

(社会・経済学)

経済社会系学術講演会 四月 「日本の労働

問題—労働市場について—」 松本達郎

助教授

「新しい経済発展の理論」 天利長三教授

× × × × ×

「ニダヤ主義の超克」 九月十九日 進往会

研究会

「革命と審判原始基督教の社会科学的展望」

十月 東京女子大学 全学集会

「ヘブライズムとギリシャ思想の接近」 十

二月 進往会研究会

「国連の経済開発モデル」 三十年五月三十

一日 国際経済学会年次大会 柳父徳

太郎教授

「マルクセの開発理論について」 六月 於

農業総合研究所 天利長三教授

「過剰人口の一存在形態としての中小工業」

七月 社会政策学会大会 於北海道大学

「日立地区における中小工業」 三十年三月

ユネスコ学術調査報告会 松本達郎助教

× × × × ×

柳父徳太郎教授 「アジアの独立と開発」

(世界経済) 八・九月 「不正競争問題と

しての国際独占政策」 (「国際不正競争の

研究」 共著) 有斐閣 「カトリシズムと

近代国際関係」 (「論集」五の二) 「未開

発地域開発計画」 (経済学大辞典) 東洋

経済新報社 「国際独占禁止の問題」 (「ブ

レティン四号) 「日本産業化の経済倫理

的関連」 (比較文化研究所紀要未刊)

天利長三教授 「J・ロビンソンの『拡張

経済』のモデル」 (論集五の一)

松本達郎助教授 「独占と中小企業」 (経済

学講座第二卷) 大月書店 「中小工業の

労働者」 (大河内、隅谷編) 「日本の労働

者階級」 東洋経済新報社 「労働市場に

おける封建性」 「賃労働における封建性」

(社会政策学会年報第二集) 有斐閣

(歴史学)

大森志郎教授 「上代仮名遣ひから見た邪

馬台国の擬定」 (論集五の二) 「魏志倭人

伝の研究」 宝文館

心理学部会

「ヨーロッパに於ける心理学の現況」 五月

十日 大阪大学助教授 前田嘉明氏

「本能について」十一月二十五日 東京大
学助教授 八木晃氏

「ヨーロッパの characterology と アングロ・

アメリカンの personality theory について」九月十一日 日本応用心理学会 於
日本大学

「米大陸における心理学の最近の動向につ
いて」十月二日 於東京教育大学心理
学研究室

「大きさの辨別学習における移調と記憶の
正確度との関係」三十年五月八日 日本
心理学会第十九回大会 於京都大学

「思考心理学における最近の展開について」

五月十日 日本心理学会第十九回大会シ
ムポジウム 於京都大学 白井 常教授

「図形性の問題(4)―図形残効に及ぼす持続
視図形の体制の影響」三十年五月七日
日本心理学会第十九回大会 於京都大学
森敏吉助教授

「等間隔明度に関する一考察」三十年五月
八日 日本心理学会第十九回大会 於京
都大学 大川信明助教授

× × × × ×

森敏吉助教授「シロネズミの辨別学習に関
する一実験」(動物心理学年報第五輯)

「偏心円に於ける偏位効果」(心理学研究第
二十五巻第四号) (大城安子共著)

「Experimental Studies on the Influence of
Configuration upon Perceived Bright-
ness.」 The Japanese Psychological Re-
search, 1955, No. 2. (岡崎恵子共著)

体育部会

「神経衰弱症について」三十年二月四日
東京大学 重田定正氏

× × × × ×
「婦人と体育」三十年三月三十一日 栃木
県教育委員会 於宇都宮

「女子体育指導者の地位」三十年二月二十
二日 女子大学体育研究集会 於東京お

茶の水女子大学 内海千江教授

「レクリエーションの理論と実際」三十年

八月二十九日、三十日 日本女子体育聯
盟神奈川支部 於横浜 内海千江教授

三井田フミ助教授 駒子美代子助手

「レクリエーション指導」三十年七月三十
一日―八月三日 基督教教育同盟主催
夏期学校 於御殿場 三井田フミ助教授

「フォークダンス指導」三十年七月十二、
三、四日 於帯広 加茂頼子講師

× × × × ×
内海千江教授「女子体育の問題点」(新体
育)二十九年九月「冬期に楽しむフォ

ークダンス」(体育の科学)三十年二月
「フォークダンス」(現代舞踊)三十年
五月より各月「ダンスの指導」(体育の
科学)三十年七月「中等体育(新学習
指導要領詳拠)」(竹之下林蔵・松延博共
著) 教育図書株式会社 三十年十月

三井田フミ助教授「我が家のお月見会」
(体育の科学)三十年九月(池田光政・
矢野久英共著)

自然科学部会

(化学)

「陽極反応の研究(第九報)電解酸化の際に
おける陽極電位と反応機構の関係につい
て」三十年五月二十二日 電気化学協会
於福岡 青柳 茂助教授、高崎佑子助手

「陽極反応のポーログラフ的研究(第二
報)」二十九年十一月 電気化学協会、
ポーログラフ研究会共催 於京都 青

柳 茂助教 (杉野喜一郎氏・共同)

青柳茂 助教 「塩素酸塩の電解酸化による過塩素酸塩生成の機構に関する研究」
〔論集〕五の二)

(生物学)

「ゴルジ氏装置の諸問題——科学の研究方法について——」十一月十日 多羅尾四郎教授・青山 茂助教・鳥山英雄助教

「超薄切片によるゴルジ氏体の電子顕微鏡像」十月十七日 日本動物学会 於東京

「ゴルジ氏体の構造について」十一月十日 電子顕微鏡学会 於仙台

「ゴルジ氏体の諸問題」十一月二十日 位相差顕微鏡学会 於東京 多羅尾四郎教授

「オジギソウ葉枕の細胞生理学的研究 (第四報)」十月 日本植物学会 於京都

鳥山英雄助教

多羅尾四郎教授 「ゴルジ装置の構造について」(電子顕微鏡) 四卷二号 一九五五

鳥山英雄助教 「オジギソウ葉柄の細胞間隙とカリウムの移動」(科学) 二十四巻

十号、一九五四

「Observational and Experimental Studies of Sensitive Plants. II. On the changes in motor cell of diurnal and nocturnal condition.」Cytologia 19: 29-P0, 1954.
「Observational and Experimental Studies of Sensitive Plants. III. On the epidermal system of the pulvinus and leaf.」Ibid. 19: 286-298, 1954

昭和二十九年 始業講演

前期 「ヴィエ哲学と近代歴史学」四月十日

二期 長 寿吉客員教授

後期 「産業心理学における心理学界の最近の問題について」十月二十日 白井常教授

昭和二十九年 度公開講座

本学会主催最初の東京女子大学公開講座をひらき、毎回多数の参加者があり好評であつた

第一回 十月二十三日

開講の辞 高木貞二学長

歴史 「米と人口と歴史」 大森志郎教授

経済 「家計と国民経済会計」 柳父徳太郎教授

第二回 十月三十日

日本文学 「ダンテと北村透谷」 笹淵友一教授

英文学 「現代英国詩壇」 齋藤 勇客員教授

第三回 十一月六日

心理学 「現代心理学の諸傾向」 高木貞二学長

自然科学 「生物の進化」 多羅尾四郎教授